

| 学習活動(分) | ○ 指導の手立て(支援方法) ◎ 評価 | | | | | | | | 留意点 | |
|--|--|--|---|---|---|---|---|---|--|--|
| | Aさん | Bさん | Cさん | Dさん | Eさん | Fさん | Gさん | Hさん | | Iさん |
| 1 ウォーミングアップを行い、めあてと学習の流れを確かめる。(6) | ○ 『グーチョキパーでなにつくろう』の手遊び歌をして、心をほぐし、活動への意欲を高める。 ○ 見通しを持ち、学習への期待感が高まるように、本時のめあてと学習の流れを確かめる。 | | | | | | | | ○ 見通しを持って活動できるために、本時の流れを提示する。(T1) | |
| 2 お気に入りのおもちゃを紹介する。(4) ・ 名前と遊び方を一人ずつ自分で紹介する。 | 自分のおもちゃの良さや遊び方を進んでみんなに伝える。 | 分かりやすくおもちゃの遊び方を教えたり友達から教わったりして、遊びを十分に楽しむ。 | 友達に楽しく遊んでもらえるように、自分の得意な方法でおもちゃの良さや遊び方を伝える。 | 自分がやりやすい方法でおもちゃの良さや遊び方を笑顔で伝え、遊びを共に楽しむ。 | 自分なりにおもちゃの良さや遊び方を伝えたり、おもちゃの遊び方を教わったりして楽しむ。 | 自分で作ったおもちゃでの遊び方を友達に分かるように伝え、一緒に楽しむ。 | 興味を持ったおもちゃの作り方を友達から教わり、おもちゃを作って遊ぶ活動を時間いっぱい楽しむ。 | 遊び方を教えたり教えてもらったりしながら活動の楽しさを味わい、その楽しさを友達に伝えて広げる。 | 興味を持ったおもちゃについて進んで教わり、自分なりの工夫をして時間いっぱい楽しく遊ぶ。 | ○ 安心して活動に臨めるために、気持ちが不安定になっている児童や話を集中して聞けていない児童への支援をする。(T2) |
| 3 交代でおもちゃ遊びをする。(30) ① 雪組のおもちゃコーナーで遊ぶ。 ② 感想を伝える。 ③ 月組のおもちゃコーナーで遊ぶ。 ④ 感想を伝える。 ⑤ 片付けをする。 | ○ おもちゃの良さや遊び方を自信を持って伝えられるよう、本人なりの伝え方を一緒に考える。 ○ 友達のおもちゃの良さに気付くために、友達の話をよく聞いたり見たりするように声を掛ける。 ○ 活動の中で、友達の関わりを踏まえた感想を持てるように声掛けをする。 | ○ 友達に応じた伝え方ができるよう、初めに伝え方のコツを確かめておく。 ○ 質問などの行動を自分から起こしている姿を褒める。 ○ 友達のおもちゃの楽しさや伝え方の良さについての感想を持てるよう声を掛ける。 | ○ 友達にしっかりと伝わるために、本人なりの方法を一緒に考えて、練習しておく。 ○ 友達のおもちゃに関心を持ち楽しく遊んでいる姿を褒める。 ○ 相手との関わりのうれしさや楽しさについての感想が言えるように声掛けをする。 | ○ 作ったおもちゃの遊び方を伝えるために、本人なりのやり方を一緒に考え、練習する。 ○ いろいろな友達のおもちゃに触れ合い楽しむために、本人の要求が伝わる手助けをする。 ○ たくさん伝え合い遊んだことを示すために、絵カードで発表できるように準備する。 | ○ 友達に進んでおもちゃの良さや遊び方を伝えるために、やりやすい方法を一緒に考え、練習する。 ○ 自分で遊びたいおもちゃを選べるよう、指差しなどの意思表示の方法を伝える。 ○ 言葉で伝えることが難しいときは、うなずきや絵カードの選択でも意思表示できるように準備しておく。 | ○ 言葉で伝えることが難しいときは、絵を描いて伝えるように声掛けをする。 ○ 言葉だけでなく、身振り手振りを加えて、相手に意思を伝え、一緒に仲良く遊ぼうとしていることを褒める。 ○ 言おうとしていることが伝わりにくいときは、よく聞き取り代弁する。 | ○ 質問や感想から、話題がそれていきそうなときは、修正をする。 ○ うまくいかないときも、友達のやり方を参考にしながら工夫してみるよう励ます。 ○ 集団から離れていったときは、時間を置き、落ち着いたころを見計らって声を掛ける。 | ○ わくわくした気持ちを素直に表現できるようにする。 ○ 自分とは違う、友達の意見ややり方の良さにも気付けるように声掛けをする。 ○ 手の汚れが気になるときは、いつでもウェットティッシュが使えるように用意しておく。 | ○ 友達の説明を最後までよく聞けるよう、注意を促す。 ○ ためらいや戸惑いの様子が見られるときは、思いの伝え方を示し、進んで教わろうとできるようにする。 ○ 自分や友達の頑張りや工夫に気付けるように声掛けをする。 | ○ 個々の目標が達成できるよう、児童の交流の支援を個別に行う。(T1, T2) |
| 4 振り返りを行い、次時の見通しを持つ。(5) ・ タブレットで、本校の合言葉「きなこもち」を使って、振り返りを行う。 | ◎ 自分のおもちゃの良さや遊び方を進んで伝えようとしていたか。 | ◎ 自分のおもちゃの伝え方を工夫したり、友達から教わったりして、遊びを十分に楽しむことができたか。 | ◎ 友達に楽しく遊んでもらえるように、自分なりの方法でおもちゃの遊び方や良さを伝えたか。 | ◎ 自分なりの方法でおもちゃの楽しさを笑顔で伝え、遊びを友達と共に楽しんだか。 | ◎ 自分なりの方法でおもちゃの良さや遊び方を伝えたり、興味を持って遊び方を教わったりして、楽しめたか。 | ◎ 作ったおもちゃで遊ぶ楽しさを、友達と共有しようとしているか。 | ◎ 友達の作ったおもちゃで遊ぶ活動を、時間いっぱい楽しめたか。 | ◎ 遊び方を教えたり教えてもらったりする活動を楽しむことができたか。 | ◎ 興味を持ったおもちゃについて進んで教わり、時間いっぱい楽しく遊べたか。 | ○ 場面を切り替えて素早く片付けに移ることができるために、片付けBGMを活用する。(T1) |
| | | | | | | | | | | ○ 児童の様子を写真や動画で撮って、次時の評価に生かすようにする。(T1, T2) |
| | | | | | | | | | | ○ タブレットの操作が難しい児童には個別に適切な支援を行う。(T1, T2) |
| | | | | | | | | | | ○ 達成感を得られるように、良かった点を共有する。(T1) |